

和ん話んタイムズ

No. 2 (会員向け)

2008.3.24

NPO 法人

ここ掘れ和ん話ん探検隊

ようやく雪もおさまり、小国にも待ちに待った春が来ました。今まさに、山々の木々が芽をふくらませ、葉を押し開かせようと力を蓄えている今の我々「ここ掘れ和ん話ん探検隊」の様です。

さて、昨年11月17日に特定非営利活動法人(NPO法人)「ここ掘れ和ん話ん探検隊」を結成し、2月27日山形県の認証が決定し、法人登記も3月4日に完了、県と小国町への法人設立届けも済ませ、活動を開始できるようになりました。

10名の理事と個性ある会員の得意な分野の力を結集して「小国で生きる、小国を活かす」を基本理念として、会員一同が「がちり」とスクラムを組み活動をスタートいたします。これまでの継続活動のほかに新たな活動も計画されていますので、積極的な参加をいただくことでNPO法人「ここ掘れ和ん話ん探検隊」一年目がさらに確かな力で動き出すことと思います。

設立総会で、私が初代理事長として就任することになりました。非力ではございますが、一生懸命力を尽くす覚悟でおります。

会員皆様方のご指導とご協力をお願いし挨拶とさせていただきます。

平成20年3月

特定非営利活動法人(NPO法人)

「ここ掘れ和ん話ん探検隊」

理事長 齋藤 弥輔

NPO 法人ここ掘れ和ん話ん探検隊の

当面の活動予定

総会の案内

まだ総会が終わっていないために、活動日程の確定はできませんが、現時点で予定している日程をお知らせします。

昨年の11月27日の設立以来、事務的な諸手続きや事務所開設の準備などをすすめてきました。ようやく事務所もらしくなってきましたし、活動の準備が整ってきました。

なお、「和ん話ん」内に事務局を置くことになっている【越後米沢街道・十三峠交流会】に関する活動については裏面に載せてあります。

4月からは新年度がスタートしますので、あらためて20年度の総会を開いて、事業計画・予算案などの話し合いを行います。くわしくは別にご案内をしますが、日程調整をよろしくおねがいします。

4. 19 「和ん話ん」の定期総会
5. 24~25 山菜の学校(健康の森教室)
5. 31~6.1 山菜の学校(五味沢教室)
6. 7~8 十三峠ソーデーウォーク
7日夜 篠笛コンサート
7. 5~6 萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊

とき 4月19日(土) PM6:30から

ところ 大滝温泉「滝の湯」

バスで送迎をします。

総会のあと、懇親会を予定しております。

(希望者 会費4,000円)

また、緑環境税を活用した活動に公募していますが、3月25日審査がある予定なので、結果によっては新しい活動となってきます。

その他については、総会で決めます。

越後米沢街道・十三峠交流会

平成16年度から県の置賜総合支庁が中心となり、「旧越後米沢街道・十三峠活用連絡会議」が設置され、十三峠の活用策を検討してきました。県や町の助成を受けて峠の整備や道標・案内板の設置、パンフレット・ガイドブックの作成もしてきました。その後、この活動は行政主導でなく自主的な事業ができるような新組織が必要との認識のもと、1月31日に「越後米沢街道・十三峠交流会」が設立され、今までの活動を引き継ぐことになりました。新組織設立にあわせて、事務局も「ここ掘れ和ん話ん探検隊」内に置くことも決まりました。

総会のあと、2月20日に第1回役員会が開かれて、会の活動のすすめ方・事業計画・予算などが話し合われて、4月に総会を行うことが確認されました。総会の確認を得てから具体的な活動がスタートすることになりますが、役員会で検討された活動をお知らせしますので、参考にしてください。

◎十三峠ツーデーウォーキング

13峠のうち、主な峠を2日間で踏破しようとするものです。予定では6月7～8日です。大里・萱野・朴の木を歩いて健康の森に泊まって交流会、次の日は黒沢・桜・宇津を歩く予定。

健康の森では「篠笛コンサート・和太鼓」も計画しております。

◎萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊

昨年の夏と秋に行なって好評だった「探検隊」ですが今年も7月5～6日と10月4～5日に予定しています。将来の事業展開を模索する実験イベントとして内容を検討しながら開催することとなります。

◎峠のガイド養成講座

峠を訪ねてくる人たちへの案内をできる地元ガイドが少ない実情があります。一朝一夕にガイドを養成するのは困難ですが、徐々にではあっても取り組みをする必要があります。講師を頼んでの座学や現地を歩いている研修なども計画していきます。できれば、年間に4回程度開催することを目指します。

◎「グッズ」の開発

峠を歩いた記念やお土産としてのグッズを開発することにします。すでにいくつかの案は出されていますが、皆さんもぜひ頭をひねってみてください。将来、商品として販売できる方策なども検討します。

◎先進団体の視察・研修

峠や街道を活用して、イベントや事業を展開している団体が各地にあります。それらの先進団体の活動を見聞することで、この会の発展・前進に役立つものと考えられます。

視察や研修だけでなく、他団体との連携も大いにすすめます。

◎十三峠活用交流シンポジウム

「交流会」設立を機に、十三峠活用の可能性を探り、活用への意識高揚を図るために、9月にシンポジウムを開く予定です。

◎カレンダー・パンフレット

十三峠を題材としたカレンダー、ポスターの作製も計画しておりますし、既存パンフの増刷、さらには新しいパンフの作製も企画をすすめていきます。